

Lesson8<形容詞・副詞>

p.58

Point1 形容詞の用法

- ① 名詞を直接修飾する用法: 形容詞 + 名詞で一つの名詞として扱う。

a) 修飾する名詞の直前に置く…普通の名詞の場合

[例] new camera a red rose a good time

b) 修飾する名詞の直後に置く…不定代名詞 something, anythingなどを修飾する場合

[例] something good 「なにかよいもの」

- ② 動詞のあとから主語を間接的に説明する用法…主語の説明を補う言葉 = 主格補語

[例] He is tall. She looks sad. Tom became sick.

Point2 数、量を表す形容詞

- ◎ 修飾する名詞が数えられる(= 可算名詞)、数えられない(= 不可算名詞)かによって使い分ける。

	可算名詞	不可算名詞
たくさん	many	much
	a lot of	
いくらか	some/any	
数個	several	/
すこしの	a few	a little
ほとんどない	few	little
まったくない	no	

[例] Do you have many CDs?

Do you have much homework today?

※ 否定文・疑問文の場合は some→any になる

Point3 副詞の用法

- ① 動詞を修飾する用法…普通、動詞のあとにくる。

[例] My father works hard. She can swim well.

- ② 形容詞や副詞を修飾する用法…修飾する形容詞や副詞の直前に置く。

[例] He is very old. I like him very much.

- ③ 度数・頻度を表す副詞(always, usually, often, sometimes など)の位置

a) be 動詞・助動詞…直後に置く。

b) 一般動詞…直前に置く。

[例] She must always work hard.